©2005 石塚真一/小学館

第380号＜令和7年(2025年）2月13日＞

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員
島崎　三歩　の「山岳通信」

長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報を提供しています。

https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html　　長野県警察

■スキー場で安全スキーを呼びかけました。

バックカントリースキーの遭難が相次いでいるため、啓発活動を行いました。
1 月 24 日（金）には、白馬八方尾根スキー場と栂池高原スキー場で、
また 2 月 7 日（金）には、野沢温泉スキー場で、安全スキーを呼びかけました。
県警山岳安全対策課、県山岳高原観光課、県地域振興局、それに地区遭対協らの各担当者らが
ゴンドラリフトの運行開始前から、大勢の訪日外国人スキーヤーらにバックカントリーでの滑走予定を
聞くなどしたうえで、ステッカー（啓発動画に誘導）やチラシを配布し、注意を呼びかけました。

■外国人向け啓発動画＆雪山・バックカントリー安全啓発動画 公開中！

「Ski Safety in NAGANO」
⇒ https://db.go-nagano.net/en/staying-safe-in-the-backcountry/

「バックカントリー装備」
⇒ https://www.youtube.com/watch?v=6wSpi_ufRlo

「雪山での危急時に役立つ簡易雪洞」
⇒ https://www.youtube.com/watch?v=EEnTxQRrieM

■御嶽山 噴火警戒レベル「２」に引き上げ！

気象庁は、御嶽山で火山性地震が増加し、今後、噴火が発生するおそれがあるとして、
1 月16日（木）「火口周辺警報」を発表、噴火警戒レベルを「2」（火口周辺規制）に引き上げました。
“地元町村等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、
風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。”
詳しくはコチラ！　https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangaku/index.html

気象庁≪御嶽山の活動状況≫ https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/activity_info/312.html
御嶽山火山防災協議会≪木曽御嶽山安全対策情報≫ https://www.ontake-volcano.jp/kisei/

～信州の山小屋応援・山岳遭難防止対策プロジェクト～
信州の安全登山の推進に御支援を！
【寄付募集サイト】

■先週の山岳遭難発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
2/5 水	山ノ内町大字 平穏地籍山林内	男	53	無事 救出	道迷い	単独でスキー場管理区域外を滑走中、道に迷い、行動不能に （バックカントリー）
2/7 金	北アルプス 岩菅山	男	19	無事 救出	道迷い	スキー場内のコースを滑走中、何らかの原因でスキー場管理区域外に逸脱し、行動不能に （バックカントリー）
		男	19			
2/9 日	北アルプス 地蔵の頭	男	43	無事 救出	発病	単独でバックカントリーを滑走中、発病により、動不能に （バックカントリー）

■長野県警　山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス！

先週、長野県内では、3件の山岳遭難があり、すべてバックカントリー遭難です。

①バックカントリーは、スキー場の延長線ではありません！

「ふかふかのパウダースノーを求めて」「新雪の浮遊感がたまらない」「ファーストトラックを滑りたい」「誰も滑走していない場所にシュプールを描く」など、最高の雪質に誘われてスキー場の管理区域外へ出てみれば、そこは大きなリスクを伴う、冬山そのものです。

②安易な気持ちで、スキー場の境界線（ロープ）を越えていませんか？

「このまま滑って行けば、いずれゲレンデや道路に出るだろう」「ゲレンデに沿って、滑っているから大丈夫」「誰かのシュプールがあるから大丈夫」「下に街が見えているから大丈夫」「SNS で情報を見た」「みんな滑っているから雪崩は大丈夫」など、ロープの向こう側は管理されたゲレンデとは違い、すぐに救助が向かえる場所ではありません。

③その境界線の先には、危険（リスク）がいっぱいです！

- **滑走に適した斜面は、雪崩斜面**
- **胸までの新雪で、滑ることも登ることもできない**
- **自分がどこにいるのか分からず、携帯電話も圏外で救助も呼べない**
- **転倒したら新雪に埋まって窒息**
- **崖や滝、沢に気がつかず、転落**
- **立木や岩に衝突し、骨折**

遭難者の中には、ビバーク装備を含め、装備品が不十分な方が多くいます。　ゲレンデの延長線で、着の身着のまま管理区域外（バックカントリー）を滑走する行為は、致命的な遭難に直結します。

ゲレンデのルールや利用規約を確認し、マナーを守って安全にスキー・スノーボードを楽しみましょう。また、バックカントリーに出る場合には、必ず天候やルートを確認し、雪崩対策装備やビバーク装備を携行しましょう。

■山岳遭難発生状況～令和７年（2025 年）1月 1 日～2 月 9 日

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内）死傷者
令和7年	14	1	1	6	11	19	8
うち）単独登山	5	1	1	1	2	5	3
令和6年	21	5	0	4	15	24	9
うち）単独登山	6	1	0	0	5	6	1
前年同期比	－7	－4	＋1	+2	－4	－5	－1
うち）単独登山	－1	±0	＋1	＋1	－3	－1	＋2

■山域別発生状況～ 令和７年（2025 年）1 月 1 日～2 月 9 日

区分		件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	0	0%	0	0	0	0	0
	後立山	6	42.9%	0	0	2	9	11
	その他	0	0%	0	0	0	0	0
	計	6	42.9%	0	0	2	9	11
中央アルプス		1	7.1%	0	0	1	0	1
南アルプス		1	7.1%	0	0	1	0	1
八ヶ岳連峰		0	0%	0	0	0	0	0
その他の山岳		6	42.9%	1	1	2	2	6
計		14		1	1	6	11	19

JR 長野駅で外国人客に
注意呼びかけ

白馬村と野沢温泉村でバックカントリーエリアを視察

■態様別発生状況～ 令和７年（2025年）1月1日～2月9日

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	1	7.1%	0	0	1	0	1
転倒	5	35.7%	0	0	5	0	5
病気	1	7.1%	0	0	0	1	1
道迷い	4	28.6%	0	0	0	7	7
落石	0	0%	0	0	0	0	0
雪崩	0	0%	0	0	0	0	0
落雷	0	0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	0	0%	0	0	0	0	0
不明・他	3	21.4%	1	1	0	3	5
計	14		1	1	6	11	19

■男女別・年齢別発生状況 ～ 令和７年（2025年）1月1日～2月9日

区分	男性					（人）	女					（人）	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	0	2	2	7 41.2%	0	0	0	0	0	1 50%	2	8 42.1%
20代	0	0	0	3	3		0	0	0	0	0		3	
30代	0	1	1	0	2		0	0	0	1	1		3	
40代	0	0	2	1	3	5 29.4%	0	0	0	0	0	1 50%	3	6 31.6%
50代	0	0	1	1	2		0	0	1	0	1		3	
60代	0	0	1	2	3	5 29.4%	0	0	0	0	0	0 0%	3	5 26.3%
70以上	1	0	0	1	2		0	0	0	0	0		2	
計	1	1	5	6	17		0	0	1	1	2		19	
率	89.5%						10.5%							

＊内容は、長野県警察本部の発表時点のものです。
＊本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光スポーツ部山岳高原観光課」までお寄せください。

mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝